

大学コンソーシアムやまがた 総務運営委員会 記録（案）

日 時 平成20年3月19日（水）14:00～16:35

場 所 山形大学事務局第2会議室

出席者 委員長 中村三春（山形大） 副委員長 柚木泰彦（芸工大）

委 員 栗山恭直（山形大学）、内田勝雄（県立保健医療大学）、呉 尚浩（地域活動部会長／公益大）、鈴木義昭（山短大）、田中ふみ子（代理／羽陽短大）、大木みどり（代理／羽陽短大）、舟越利弘（農大）、友光健二（学術情報部会長／山形大）、佐竹正行（山形大）、菊地 朗（山形大）、中嶋健治（芸工大）、阿部愼悦（保健大）、片岡卓爾（米短大）、大戸次男（産短大山形）、森谷伊都子（山形県）

オブザーバー出席者 山崎淳一郎（山形大）

欠席者 委 員 松田幹夫（教育連携部会長／保健大）、嶋崎伸一（米短大）、池田浩一（公益大）、半澤昌子（山短大）、巻 久（羽陽短大）、長谷川守男（羽陽短大）、佐藤 勉（鶴岡高専）、江口裕之（鶴岡高専）、結城政幸（放送大）、工藤 誠（産短大庄内）、西村妙子（農大）

議事に先立ち、委員長から、代理出席者とオブザーバー出席者の紹介があった。

議 題

1 19年度事業報告および収支決算見込について

委員長から、資料1-1、2により、今年度の事業実施状況および収支決算見込について説明があり、検討の結果、大枠で了承された。

次いで、委員長から、本件については、今後精査した上で3月28日開催の幹事会に提案することになる。また、確定分については、新年度の本委員会でご審議いただくことになる旨説明があった。

2 20年度事業計画および収支予算について

委員長から、今年度、本コンソーシアムの活動を適正なものにすべく事業等の見直しを行ったが、その後、（財）新技術振興渡辺記念会から山形大学を通して事業委託の形での本コンソーシアムの支援が決定され、20年度の本コンソーシアムの事業に反映することになった旨、また、財団から支援を受けることについては12月18日開催の臨時総会において説明されている旨の説明があり、次いで、オブザーバー出席の山形大学山崎教授から、資料2-1により、財団の概要、支援を受けることになった経緯、委託事業の内容、支援額等について説明があった。主な説明内容、質疑応答は次のとおり。

- ・（財）新技術振興渡辺記念会は、科学技術に限らず幅広い支援を行っている財団である。
- ・山形大学が提案した、①「大学コンソーシアムやまがた」の強化、②東日本地区FDネットワークの構築、③市民が理科好きになるモデルの開発、が採択された。支援は2年

間の予定である。

- ・「大学コンソーシアムやまがた」の強化としては、20年度に1920万円、21年度には1720万円の予定で、計3600万円余りの支援となる予定

Q 財団の支援金は、大学間の共同研究には使用できないのか。

A 委託事業内容にはなじまない。概算要求に盛り込むことは可能と思う。

本コンソーシアムとしても、今後は研究の共同化についても考えていく必要があると思う。

次いで、事務局から資料2-2により、山形大学から本コンソーシアムに再委託される予定の事業および経費の説明と、資料2-3、4により、20年度の事業計画および収支予算案について説明があり、質疑・意見交換の後、委員長から、本件については各機関に持ち帰り検討いただき、意見等は事務局にお知らせいただくか幹事会において発言いただきたい旨、また、事業の増加に伴う部会等のあり方については新年度に検討することとしたい旨の発言があった。

主な質疑・意見交換の内容は次のとおり。

Q 各事業の中に「先進地調査」があるが、今年度にはなかったが重要なものなのか。

A 調査は、情報収集・交換であり、本コンソーシアムにとって重要なものとする。今年度は予算の都合でできなかったが、これまでも実施してきている。

Q 今後、事業計画を変更することはできるのか。

A 大幅な予算増となったこともあり、新年度に各部会等において事業の具体策について検討いただき、必要が生じたときは総会等に諮り事業計画を変更することになる。

Q 今年度に行われた事業等の見直しでは、事業はスリム化していくことになったと思うが。

A 予算は大幅に増額されるが、新規事業は「科学教室」と「出前大学等合同説明会」のみであり、大きな負担増にはならないと考える。

Q 教育力の向上が求められており、合同でのFDなども事業として考えられると思うが。

A FDについては、財団からの支援もあり、山形大学を中心に「東日本地区FDネットワーク」の構築事業が実施されることになっているので、そちらに委ねることになる。

- ・ 今後は、本コンソーシアムの外部評価も考えてはどうか。

なお、資料2-3および2-4に誤りがあるので、後日修正したものに差し替えることになった。

3 幹事会（3/28）の議題について

委員長から、資料3により、3月28日開催の幹事会の議題案について説明があり、了承された。

4 その他

(1) 単位互換に関する農大の加入、覚書の改定および産短大のオブザーバー参加について

委員長から、資料4により、説明があり了承された。

(2) 文科省の戦略的大学連携支援事業について

委員長から、本件については12月18日開催の臨時総会において、獲得に向けて幹事会等で検討することになっている旨説明があり、次いで、山形大学山崎教授から、資料5により、事業の概要および現在の検討状況等について説明があった。次いで、質疑・意見交換の後、委員長から、本件については3月28日開催の幹事会に報告し、新年度に検討いただくことにしたい旨発言があった。

主な説明内容等の内容は次のとおり。

- ・20年度は総額30億円規模。今後5年間で200件程度の取組を3年間継続支援
- ・本コンソーシアムとしては、総合的連携型の地元型（Max. 5千万円/年）で申請予定
- ・4月上旬に公募内容説明会、申請受付は6月上旬、採否結果通知は8月の予定
- ・現在、最上川流域に広がる文化・伝統を題材にした事業（共同研究、体験型授業、産学連携、国際交流など）をコアに展開してはと考え、芸工大、公益大と相談している。
- ・タスクフォースをつくり、各機関が参画可能な具体案を考えていただきたいと考えているのでご協力いただきたい。
- ・申請にあたっては、各機関の了解を得た上で、幹事会、総会を経て行うことになる。

以上

配付資料

| | |
|-----------|--|
| 資料 No. なし | 総務運営委員会名簿 |
| 資料1-1 | 19年度大学コンソーシアムやまがた事業（中間）報告 |
| 資料1-2 | 19年度大学コンソーシアムやまがた収支決算見込額調 |
| 資料2-1 | プレス発表資料（財団からの委託事業について） （財団）調査研究委託計画書 |
| （席上配付） | エラスムス計画 |
| 資料2-2 | 財団から山形大学に委託される調査研究事業の概要 山形大学からコンソーシアムに再委託される事業の概要 |
| 資料2-3 | 20年度大学コンソーシアムやまがた事業計画（案） |
| 資料2-4 | 20年度大学コンソーシアムやまがた収支予算書（案） |
| 資料3 | 大学コンソーシアムやまがた幹事会議題（案） |
| 資料4 | 大学コンソーシアムやまがた幹事会（持ち回り）について |
| 資料5 | 「戦略的大学連携支援事業」の概要 |
| 参考資料1 | 大学コンソーシアムやまがた臨時総会（12/18）議事録 |
| 参考資料2 | 大学コンソーシアムやまがた役員等一覧 |